

『SELECT English Conversation』の編集方針と内容



拓殖大学 北出 亮

新教科書の編集方針

新教科書『セレクト英語会話』の学習指導要領における目標は「英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、身近な話題について会話する能力をやしなう。」となっており、平成19年度に改訂された現在のオーラルコミュニケーションⅠの学習指導要領と内容は基本的にほとんど変わっておりません。科目名は「Oral CommunicationⅠ」から「英語会話」となりましたが、テーマ・題材、言語活動の扱い、文法の扱い、英語での授業は現行と同じ扱いです。従って、新教科書の「英語会話」は現行『SELECT Oral CommunicationⅠ』の編集方針を踏襲致します。

今回の『セレクト英語会話』は1996年初版の『SELECT Oral Communication A』の流れを受け継いだ教科書です。この間、『セレクト』の基本コンセプトとして長年教育現場で大きなご支持を頂いてきた「Key Expression方式」「5段階ステップ式」「コミュニケーション活動」「ワークシート」などの指導法を完全に受け継ぎました。今回の『セレクト英語会話』でも、「授業が進めやすく、教えやすい」「楽しく学べて力がつく」「基本表現を繰り返し段階的に学ぶので、授業がしやすく達成感がある」「教材が充実していて評価がしやすい」という基本的な編集方針にさらに磨きをかけて編集致しました。

追加項目とその対応

新学習指導要領には、現行にない追加項目「海外での生活に必要な基本的な表現を使って、会話する」がありますので、その対応が新しく追加する内容になります。

海外での生活というと、高校生にとっては「留学」が一番可能性が高いと思われます。そこで新教科書

では東西高校の生徒として新に亜紀と拓を登場させ、アメリカへ留学させる「亜紀と拓の留学日記」の物語を作りました。また前見返しは空港の到着ゲートの場面、後ろ見返しはお別れパーティの場面として使用しましたので、アメリカ入国からホストファミリーとの生活、学校での勉強、休日の観光、そして帰国のためのお別れパーティまで留学全体の流れがわかるように致しました。

基本的な会話表現は、イラストで面白く描かれた留學生活の様々な場面の中で、実用的な会話として使われています。会話場面は、本文の「亜紀と拓の留学日記」の中で47例、前後の見返しで25例、合計72の対話文としての会話表現が使われています。

(1)「亜紀と拓の留学日記」

留學生活を大きく 1.ホストファミリーの家 2.食事と手伝い 3.アメリカの学校 4.楽しい休日の4つに分けています。4つの項目はそれぞれ、初対面のあいさつと家の中の案内、食事と手伝い、学校でのランチタイムや休み時間、授業と放課後、さらに市内観光や週末旅行など、具体的な生活場面に分かれています。

留學生の亜紀と拓は同じ高校に留学しますが、様々な留學生活を紹介するため、別行動をとり、ホストファミリーも異なって設定されています。

会話の場面や表現は基本的なものを配置してありますが、学習者の生徒に興味を持たせるため、画面には面白い人物や動物を登場させ、時には少しオーバーに描き、楽しくユーモアのあるイラストを心がけました。

なお、留学の会話だけでなく、アメリカの文化的な背景や地理的な説明を簡単にまとめた「一口コラム」を場面ごとにご準備しましたのでご利用ください。

◆亜紀と拓の留学日記2

亜紀と拓の留学日記 2

2. Helping the Family

食事と手伝い

食事

1 Help yourself. Thank you. I will.

2 How do you like the meat loaf? Oh, it's delicious!

3 Thank you for the wonderful dinner. I'm glad you enjoyed it.

Pass me the salt, please. Here you are.

1 Slurping is not always a bad manner in Japan. Really? It's interesting! How does it taste? It doesn't have much taste.

2 46 forty-six — 亜紀と拓の留学日記2

手伝い

1 May I help you? Yes, please. Will you clear the table? Can you help me do the dishes? Sure. I'd be happy to.

2 Thank you for vacuuming the room. You're welcome.

Do you mind feeding the cat, Taku? No, not at all. I'll take care of it.

2 May I use the washing machine? Sure, go ahead.

3 Do you want to mow the lawn, Taku? OK. Show me how to do it, please.

3 ひとくらコラム

ゲストもお手伝い

英語圏の人々は、ゲストに家族の一員としてリラックスしてもらうことが一番のもてなしと考えています。ホームステイしたら、家族の一員として積極的に家の手伝いを申し出ましょう。

Helping the Family — forty-seven 47

◆亜紀と拓の留学日記4

亜紀と拓の留学日記 4

4. Enjoying Holidays

楽しい休日

市内観光

1 Where would you like to visit? The Statue of Liberty and ...

2 Where's the tourist office? Sorry, I'm a stranger here, too.

3 May I have a free city map? Sure, here you are.

4 Which tour do you recommend? How about this special tour? Certainly. It'll be 80 dollars.

5 I'd like to sign up for the city tour. SALE \$80

6 86 eighty-six — 亜紀と拓の留学日記4

週末旅行

1 What are some sightseeing spots here? How about the Art Museum? Does this bus go to the Art Museum? No. Please transfer to No. 50 at the next stop.

2 May I take a picture here? Yes, but no flash, please. I'd like a ticket to Boston, please.

3 Round-trip or one-way?

4 How would you like to pay, cash or charge? Cash, please.

5 May I help you? I left my bag on the train.

6 LOST AND FOUND

Enjoying Holidays — eighty-seven 87

(2) 前見返しと後ろ見返し

現行版では、日本の空港の発着便ゲートの場面と外国からの日本留学生のお別れパーティの場面が描かれていますが、新版ではニューヨークの国際空港の到着ゲートと亜紀と拓のアメリカでのお別れパーティとなっています。また、現行版にはなかった留学日記の中の一部として連結するストーリー性を入れました。

①前見返し

ニューヨークの国際空港の到着ゲートで、亜紀と拓がホストファミリーとあいさつを交わす場面が描かれています。空港では、荷物受け取り所、税関、手荷物検査、両替、案内などの場面で接触する人達との会話を配置しました。また興味を持たせるため前見返しは、様々な動物（オウム、タコや鴨、カンガルー、ヘビ、ラクダ）や人物（サンタクロース、自由の女神像、カリブの海賊、宇宙人、原始人、飛脚）、そして物（石の貨幣、サンタのみやげ袋、海賊の宝石）がユーモラスに描かれています。留学の導入部分になりますが、楽しく学ぶことができます。

②後見返し

亜紀と拓が帰国するので、そのお別れパーティ会場での会話場面が描かれています。前見返しと同じように人物（リンカーン、自由の女神像、スーパーマン、サンタクロース、カリブの海賊、宇宙人、原始人、飛脚、忍者）や動物（オウム、猫、犬、リス、ハト、トナカイ、ペンギン、鴨）などがユーモラスに描かれています。ここでの会話は、滞米中の感想や思い出、別れのスピーチ、あいさつなどが準備されています。

(3) スターになって自己紹介

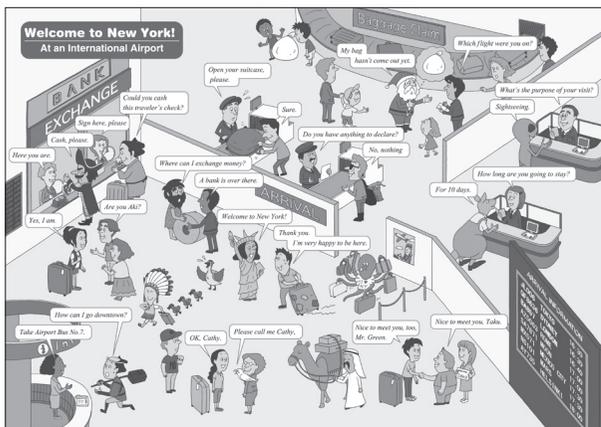
スターの写真ですが、新教科書では現行版のイチロー以外は全て差し替えました。生徒が興味を持つように若者の夢と希望を実現している人達を基準に選び、現在の時代の中で、スポーツ、芸能、政治、映画、作家、デザイナー、宇宙飛行士など世界で活躍している人や過去の人でも社会的に活躍した人を中心に掲載しました。生徒と一緒に楽しみながら活用ください。

終わりに

新教科書は現行『SELECT Oral Communication II』から『SELECT English Conversation』に科目名が変わりますが、「使いやすく教えやすく」、「生徒が楽しく学べて積極性が身に付く」「基本表現を繰り返すので無理なく身に付く」「評価がしやすく教材が充実」など、基本方針は全く変わりません。また、新学習指導要領の追加項目には「亜紀と拓の留学日記」を新しく加え、『英語会話』のテキストとしてさらに充実致しました。是非ご活用ください。

最後に、現行教科書、新教科書に一貫して流れる編集方針は「積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる」です。『英語会話』は、文法や、音声上の完璧さを目指すのが目的ではありません。恥ずかしがらずに積極的に話し、発表し、聞くことが最も重要です。英語を話そうとする生徒を励まし、評価し、自信を持たせる指導を先生方へお願い致します。

◆前見返し



◆後見返し

